

野洲高校学校アンケート結果の分析と 次年度に向けての改善策について

【生徒・保護者アンケートの概要】

令和4年度の生徒・保護者へのアンケート結果について、どの項目も肯定的な意見が否定的な意見を上回っていた。特に高評価（肯定）の意見と低評価（否定）の意見を以下に示す。

【高評価の意見が多かった項目】

(保護者)

- ・「担任、顧問、各教科担任、分掌、係、事務室など、協力し素早い連携で学校を運営している」
- ・「分割授業やチームティーチングを取り入れ、基礎学力の定着に努めている」
- ・「職業インタビューや進路別ガイダンスなどを通じて生徒の自主性・自己理解を養わせ、職業観の育成に取り組んでいる」
- ・「事故、病気、怪我などの緊急時に対する体制を整え、適切に対応している」
- ・「学校が保有する情報の適切な管理・処理に努めている」

(生徒)

- ・「先生は力を合わせて、野洲高校の教育がうまくいくように協力している」
- ・「先生は授業内容を工夫し、「わかる授業」「達成感のある授業」を行っている」
- ・「先生は一人ひとりの能力に応じて丁寧に教え、基礎学力が身につくよう努めている」
- ・「学校は進路に関する情報を提供し個別面談などにより生徒一人ひとりを大切にした進路実現に努めている」
- ・「学校は授業、HR活動、学校行事等で学校図書館を活用している」

【低評価の意見が多かった項目】

(保護者)

- ・「授業規律および校則や社会のルールを守る意識を高めることに重点的に取り組んでいる」
- ・「生徒一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけることができるよう、丁寧な指導に取り組んでいる」
- ・「配布物だけでなくH.Pやメールなど様々な方法で学校の動きを素早く正確に伝えようとしている」

(生徒)

- ・「学校は生徒がルールを守り、きちんと授業を受けるよう指導している」
- ・「学校は日常の生徒の健康状態に気を配り、保健衛生活動の推進をしようとしている」
- ・「学校は施設・用具が安全に使われるようきちんと点検している」

【改善策について】

- 1 令和3年度より学校運営協議会（コミュニティー・スクール）を立ち上げ、今後さらに地域との連携を強化し、地域とともに学校内外の課題を克服し、職員・生徒・保護者一丸となり、信頼される学校経営を推進する。また、野洲市に1校しかない県立高校として、地域の人的財産も有効に活用していく。
- 2 基礎学力の充実を図るための教員研修を充実させる。また、ICT環境の整備と充実、特に人材育成を図り、積極的に日常業務と授業への活用を展開する。
- 3 保護者との連絡をより一層密にして、人を思いやること、最後まであきらめずに取り組むことの大切さや規範意識の確立に向け粘り強く指導を行う。
- 4 生徒たちの多様なニーズに合った進路保障に努め、保護者に対しても丁寧な説明を行って理解を得るとともに、生徒自身の進路への意識向上を図る。
- 5 コロナ禍によって、学校行事だけでなく、地域の行事も縮小や中止したが、どうしたら実施できるかを工夫して考え、できることを模索しながら、生徒会執行部や部活動を中心に生徒主体の活動を展開していく。特に、部活動については生徒の社会性を育むように職員全体で連携し、上位大会進出を目指して学校の活性化を図る。
- 6 本校生徒も読書離れが顕著に見られる。生徒に積極的な図書館利用を促すとともに、教科指導やHR活動などにおいても様々な機会をとらえ、図書館の利用を心掛ける。
- 7 学校生活における安全をさらに徹底するために、危機に対する準備や危機が起こったときの対応、事後のケアなどを教職員一人ひとりが十分に理解して、生徒たちが安全に学校生活を送れるように努める。
- 8 生徒たちが日々発信する言葉、態度、様子に教職員が気を配り、教職員全体が一体となって対応できるように努める。また、外部との連携も充実させ、個々に課題のある生徒への支援に努める。
- 9 日々の清掃活動による指導はもちろんのこと、生徒会や部活動を中心に地域と積極的に連携して清掃活動を展開し、学校内外の環境整備をさらに徹底して行う。また、地域ごとに異なるゴミの分別方法などを理解させ、分別の徹底を図る。
- 10 継続して施設・用具の安全使用や環境整備の啓発活動に努め、安全管理の徹底を図る。また、文書管理・情報管理については教職員一人ひとりが常に高い意識をもち、不備のないように今後も徹底して管理していく。
- 11 コミュニティー・スクールとしての利点を最大限に活かせるよう、継続的に地域との連携を深めて、学校運営を行っていく。